



柏市は今年70周年を迎えます



# 私たちが柏を守る

【注目情報】

P14 11・12月補正予算が決定

P17 広報に関するアンケートにご協力を

# えっ!?! 柏市が70周年!?!



## CONTENTS ~目次~

### 4 特集

## 私たちが柏を守る

10 上下水道NEWS 使った水はどこへゆく?~汚水の行方~

12 クルクルクリーンかしわ 「ざつ紙」は資源品(資源ごみ)で捨てましょう

14 **Pick Up** ~市の新しい情報などをお知らせします~

11・12月補正予算が決定/妊婦のかた向け 柏市国民健康保険料を免除/  
高齢者向け 肺炎球菌予防接種費用の一部を助成/市の任期付職員を募集/  
確定申告の準備はお早めに/令和6年度 市直営駐輪場の受け付けを開始 ほか

18 **Information** ~情報コーナー~

柏駅前行政サービスセンター等が休館/図書館の休館/  
事業者の電気ガス料金支援金申請期間を延長/団体・サークルの催し/  
サークル会員募集/市民の相談室 ほか

30 **【連載】 潜入!! 工事現場** トチュー 途chuアフター

第9回 柏駅前子ども・子育て支援複合施設

31 **Kashiwa Photo Diary** ~まちの出来事を写真とともに~

柏レイソル 天皇杯準優勝 来シーズンへ希望の光

32 **【連載】 かしわ愛を込めて ふるさと産品お届け便**

第9回 あげぼの山農業公園野菜スイーツ

## 市長の スマイル通信

vol.24

柏市の70歳に感謝を込めて  
さらなる発展のスタートに

柏市は市制施行70周年を迎えます。  
昭和29年11月15日、人口4万3千人  
のまちとして誕生して以来、たくさん  
の市民に支えられ、今では人口43万人、  
県内有数の中核的な都市となりました。  
この柏市の繁栄に携わった全ての方への感謝  
を込めて、これまでに多くの人が住み、たくさ  
んの人の「ふるさと」となってきた柏の節目の  
年を、皆さんと一緒に祝いしたいと思ってい  
ます。

そこで、これから1年をかけて、柏市の70歳  
を記念する様々な取り組みを行っていきます。  
これらの場面が皆さんの思い出としてずっと  
残るように。そして今の子どもたちに将来、  
この柏を「ふるさと」と感じてもらえるように  
。そんな想いを抱きながら、市では今、市  
内の事業者の皆さんや地域で活動をされている  
方たちと共に色々なアイデアを練っているこ  
ろです。

私が市長に就任して2年、市としての節目の  
年にあたり、生まれ育った柏をもっともつと良  
くしたい、多くの人を選ばれ続けるまちにし  
ていきたいという思いを新たに、今後10年20年、  
さらにその先へずっと続いていくまちを見据え  
ながら、希望に満ちた未来の柏を皆さんと一緒  
に築いていきたいと思っています。

柏市長

太田和美



はがき・ファクスなどの記入内容

①希望する講座・催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号※電話が困難な場合はファクス番号⑥(往復はがきの場合) 返信面の宛先

掲載情報  
の見方

時=とき 所=場所 対=対象 定=定員 内=内容 講=講師 費=費用 持=持ち物 申=申し込み 交=交通 他=その他  
問=問い合わせ ●費用で特に記載のないものは無料 ●対象や定員に制限のないものは、どなたでも参加可



# 私たちが柏を守る

24時間365日、昼夜も問わず火災などの緊急時に出動する消防士。今号では、現場の最前線で市民を守る消防士の活動に迫るとともに、冬の寒い時期の火災予防などについてお知らせします。

☎企画総務課 ☎ 7133-0115 ・ FAX 7133-0109

## 1日およそ70件の緊急出動

市消防局は、総勢479人の消防士や救急救命士などで構成されています。

現場に向かう消防業務は火災、救急、救助の3つに分かれていて、令和4年における火災の件数は77件、そのうち建物火災が44件と全体の半数以上を占めています。また、たばこや電気ストーブなどの暖房機器によるものも多く、寒く乾燥する時期は火災件数が増加傾向にあります。

救急車による救急の件数は24,983件、交通事故や建物に閉じ込められた場合などの救助は495件、令和3年と件数を比較すると、いずれも増加しています。

その他にも、救急出動の支援や漏えいした危険物の排除など、消防士の出動はとどまることがありません。

特殊な車両や機器を使用する場面も多く、専門の知識や技術を持つ隊員も多数活動し、日々、柏市民や柏の街を守っています。

## 近隣市では柏市だけ

### 高性能カメラで市内をモニタリング

市消防局では、市内各所に高性能のカメラを複数設置しているため、火災現場を早期に確認することができます。

カメラは指令センターで遠隔操作をしながらモニターで映像を確認することができ、角度の調整やズームなど、現場の特定に必要な機能が備わっています。最大の特徴は暗所機能が搭載されていること。昼間だけでなく夜間もしっかりと現場を確認できます。

どんなときでも市内を見守る、消防士の強い味方です。



同時に複数のモニターで確認



## 出動指令

通報から現場までのルートと状況をモニターで確認

11秒

# 1秒でも早く駆け付ける

通報時、どんなときでも現場へ速やかに駆け付ける消防士。ここでは通報が入ってから出動するまでの消防士の姿や、いち早く現場を確認するための機器やシステムを紹介します。



16秒

急いでロッカールームへ



34秒

防護服へ早着替え

超高速の消防隊 指令センターより、消防署内に出動指令が流れます。指令を受けた隊員はチームで即座にモニターに集まり現場までのルートや状況を確認。速やかにロッカールームまで行き、わずか数秒で状況に合った防護服に着替え、車両に乗り込みます。この出動までの一連の流れに要した時間はわ



40秒

車両へ乗り込む



44秒

出動

## 【防護服の秘密】



高

危険度

低

防護服は災害状況に応じて使い分けています。危険度が最も高い防護服の場合は空気を通さないため、空気ポンペを背負い、隊員の活動限界時間を計算しながら救助を行います

ずか44秒。普段から徹底して消火や救助に必要な機器などを点検し、すでに車内に積んであるため、乗り込んだらすぐに行動できます。この速さはまさに訓練のたまもの。日々、本番を想定しながら訓練を続けているからこそ、どんなときでもいち早く現場に駆け付けられるのです。

## 最新鋭のドローン機

誰よりも早く現場の状況を届ける

市消防局には2機のドローンを配備。令和5年度に導入された最新型のドローンには、防水機能や暗所機能、最大風速15メートルにも耐えられる機能が備わっていて、風水害時や夜間にも飛ばすことが可能です。ドローンにある映像伝送装置により、現場でのタブレットや指令センターのモニターに映像をつなぐことができ、正確な指令や判断に力を発揮します。



訓練を受けた消防士が操作



# 誇り高き 消防士の日常

消防士は災害が起きていないとき、毎日どのような業務を行っているのでしょうか。ここでは西部消防署の消防士に密着取材しました。

## 直ちに出勤できる 完璧な準備

現場の消防士は1日24時間勤務の交替制。午前8時30分に交替すると、まず最初に取りかかるのは全ての車両・機器の点検。日中の訓練はもちろんのこと、地域の消火栓を点検したり、町会や事業所へ出向いて消火指導を行ったりするなど、地域全体の防災意識と安全の向上を目指して活動しています。毎日欠かさずに行う全体ミーティングでは、

## 全車両・機器を 毎日必ず2回点検



現場の状況の共有や課題の洗い出しを行い、夜勤帯になると点検・検査結果などの報告書の作成、市民からの届け出などの事務処理も行います。西部消防署では放射性物質や化学剤の漏えいといった特殊災害にも対応。市内でも年に1・2回は発生していて、大災害に発展する恐れもあるため、特殊な訓練も必要です。あらゆる場面を想定した訓練を毎日繰り返し、いつ災害が起きても対応できるように備えているのです。

## あらゆる場面を想定した訓練



放射性物質の漏えいなど特殊な災害を想定。防護服で完全防備し出動！訓練とは思えない緊張感です



訓練後、即座に課題を共有。より早く適切な救助につなげます

## 24時間体制

## 食べる・寝ることも 出勤するための重要な準備

唐揚げ4キロ！  
エネルギー  
補充



消防士自ら調理や片付けも。エネルギーの補充だけでなく、仮眠もとります

## 地域に出向き点検・消火指導



火災時に消火栓から水を放出できるように、各消防署で分担して点検

町会や事業所に出向き、「地域で守る」という意識の大切さを地域のかたに伝えています



# 関東初導入！ 全国で4台だけ 屈折はしご付消防車

はしご車は火災時や、建物の高層階に逃げ遅れた人の救出や高所からの放水などで活躍。市では西部・東部・旭町・沼南消防署の4つの地域の特性に応じて、特徴の異なるはしご車を配置しています。



## 泡の絶大な消火力



はしごの長さは、マンションの7階に相当する地上高最大21メートル

市消防局の車両で泡の放射ができる唯一のはしご車。消火力は水のおよそ17倍！

## 消防士の頼れる相棒

# 柏が誇る消防車両

市消防局には、はしご車をはじめ合計76台の消防車両があり、各消防署に配置されています。ここでは、全国でも数少ない最新のはしご車と、市の消防車両で最も大きい支援車を紹介します。



その他の車両は市のホームページで

## 車いすごと救助可能

市消防局で車いすごと救助可能な唯一の車両。自動で水平に保つ機能に加え、バスケット内からも操作が可能。高所でも安心



はしごが屈折することで電線やフェンスを避けられ、街中でも活躍

## 車両の中から部屋が！

最大の特徴は車内空間を拡張させて1つの広い部屋として使用できること

部屋内は用途によって使い方はさまざま



会議や食事のスペースに



負傷者の治療や隊員の仮眠スペースに

長期的な災害に備え、車内も用途に応じて早変わり

## 消防車両で最大！ 消防士を支える支援車

長期にわたる大規模な災害対応の際に、消防隊員のサポートや負傷者の治療などを行うための消防車両。車内には給湯器、シャワー、トイレなどが整備され、消防隊員の活動を裏から支えています。

車内は生活空間にもなるため、電力は必須。自家発電で賄います

## 番外編

## 水難救助で活躍！ 水上バイク



利根川・手賀沼に隣接する柏市では水上バイクを配備。水の事故などで活躍



車両の上部に設置されたソーラーパネル



## 消防局に女性は不可欠 柏で活躍する 女性消防士

市消防局では26人の女性が消火隊員や救急隊員として活躍していて、女性割合は5.5パーセントと、実は全国の消防局の中でもトップクラスです。ここではそんな柏の消防署で働く女性2人を取材しました。

救急隊員

中野 紗也花さん

富勢分署所属。入庁4年目

消火隊員

間宮 理央さん

富勢分署所属。入庁1年目



### 消防士になったきっかけ

**間宮** 人を助けることができ、仕事に興味があり、中でも消防は市民と接する距離が近くやりがいがあるのではと思います。消防士を目指しました。

**中野** 初めは漠然と医療関係の職業に就きたいと思っていました。大学で救急の勉強をする中で、1人でも多くの人を助けたいと思い、救急隊員としての資格を取りました。女性向けの消防局採用セミナーに参加したときに、働いている隊員の人の人柄や職場環境に魅力を感じ、柏市を選びました。

### 成長するために続ける 訓練・勉強

**間宮** 今は火災現場での消火活動や高度な救命処置が求め

られる救急現場の支援などを担当しています。そこでは、性別に関係なく重い放水ホースを持ちたり、要救助者を抱えたりします。体力面では男性に追いつくことが大変ですが、男性と同じくらい体力を付け、1人でも多くの人を助けられるように、毎日の訓練や休日のランニングなどでトレーニングに励んでいます。

**中野** 消防署の出動の中で最も多いのが救急車による救急出動です。私の仕事は救急隊員としてけがをしている人や具合の悪い人のところへ駆け付け、適切な応急処置をして病院へ搬送することです。1つとして同じ現場はなく、毎回その場に応じた判断力が求められます。どんな現場でも状況を判断し、適切な治療につなげるため、業務後や休日

に振り返しを行うなど、毎日が勉強の繰り返しです。

### 不安を安心に変えられる存在に

**間宮** 「女性がいてくれてよかった」と言ってもらえたときに、女性隊員としての存在意義を感じます。建物の自動



火災報知設備等のベルが鳴ると、火災場所を特定するために一部屋ずつ確認します。1人暮らしの女性の中には、男性消防士が部屋に入ること

に不安を感じるかたもいます。そういった不安を安心に変えていくことも私たちの使命だと思っています。  
**中野** 救急出動が増える中で、市民のかたと接する機会が多くなりました。現場で患者さんが女性の場合、相手が異性だと、体を見られたり触られたりするのに抵抗があるかたもいるかもしれません。救急隊に女性がいれば、より抵抗感を和らげることができ

のではないかと思います。これからも「女性隊員が現場に駆け付けている」ことが皆さんの安心につながるよう、日々頑張っていきます。

寒い時期

# 特に気を付けたい予防ポイント

冬は空気が乾燥していたり、暖房機器の使用が増えたりすることなどにより火災が発生しやすく、寒さで体に変調が起きやすい時期です。自分の身を守るための予防について、いま一度確認しましょう。

## 4つの火災予防習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない**
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない**
- 3 こんろの使用時は火のそばを離れない**
- 4 コンセントはほこりを落とし、不要なプラグは抜く**

## 感震ブレーカーを設置しましょう

阪神・淡路大震災や東日本大震災で起こった火災のうち、半数以上が停電復旧後の通電による出火でした。感震ブレーカーのセンサーが揺れを検知すると、自動で電力供給を遮断することができます。いつ起きるか分からない地震に備え、感震ブレーカーを設置しましょう。

市では設置費用等の一部を助成しています

【申請期限】1月31日(水)

◎詳しくは市のホームページをご覧ください

岡火災予防課

☎7133-8792

FAX7133-0109

市ホームページ



簡単に設置!

揺れを検知するとボールが落ちてブレーカーを落とします



## お餅は小さくして食べましょう

正月の時期は、お餅をのどに詰まらせる事故が毎年多く発生しています。万が一詰まらせてしまったら、次の方法で対処しましょう。

### ① 背部叩打法



### ② 腹部突き上げ法



注意

意識を失うようなことがあれば、すぐに119番通報してください



詳しい対処法

岡 救急課 ☎7133-0118・FAX7133-4000

## 家の中の温度差を減らしましょう

急激な温度差により血圧が大きく変動すると、めまいや立ちくらみなどが引き起こされます。入浴時に事前に脱衣所を暖かくするなど、家の中の温度差をなくすことが予防に効果的です。



脱衣所も暖かく

## 新春を飾る一斉放水！ 柏市消防出初式を 開催



☎1月7日(日)午前10時～正午※雨天中止

所 大堀川防災レクリエーション公園(篠籠田)

☎式典、はしご乗り演技、市立柏高等学校吹奏楽部の演奏、消防団員のー斉放水など

岡 企画総務課 ☎7133-0115・FAX7133-0109

## 地域のために！ あなたのそばに消防団

「自分のまちは自分で守る」という意識のもと、各地域において、会社員や学生など569人の消防団員が風水害時の避難誘導や消火・救助活動などを行っています。ぜひあなたの力を地域防災に役立ててみませんか。



### 3つのメリット

- ・訓練や活動を通して幅広い年齢層のかたとつながりが持てる
- ・報酬や手当が支給される
- ・応急手当指導員・陸上特殊無線技士3級認定の資格を取得できる

岡消防団課 ☎7133-8791・FAX7133-0109